

東京 陵 水

賀 正
平成26年 元旦
陵水会東京支部役員一同

年頭所感

陵水会東京支部長 守谷 貞夫

あけましておめでとうござい
ます。旧年中は陵水会活動に
対し、種々ご協力を賜り感謝
いたします。

昨年政府はデフレ脱却に向
け、「アベノミクス」を実行す
る為、日銀総裁に黒田東彦氏
を起用、「異次元」の金融緩和
を導入した。その結果、為替
が円安に振れ、輸出採算が改
善し大企業中心に増益が定着
した。

我々が好景気を実感できる
日も一日も早いことを願っ
ている。

去年は滋賀大学経済学部が
創立九十周年を迎え、大学、
陵水会夫々に記念式典、祝賀
会を催し、



両行事共、盛大に成功裡に
終了した。

特に大学側の記念式典では
来賓として文部科学省高等教
育局長、滋賀県知事、彦根市
長、その他県下の錚々たる人
物が参列されて圧巻であつた。

又陵水会の記念式典、祝賀
会と協賛して、滋賀大学経済
学部体育会設立五十周年記念
式典が実施された。

体育会系陵水会員三百名、
体育会系学生百名、他に五十
名と四百五十名が参加した。

陵水会と体育会系陵水会の
新たな結束を図る機会が出来
て喜ばしい限りである。陵水
会が一層活性化されるものと
思われる。

又九十周年に絡んで記念協
賛金を募集したところ、会員
各位の多大な御協力に依り東
京支部として指示目標額の二
倍の寄付金を集める事が出来
た。真に喜

目次

1面	年頭所感(守谷支部長)
2〜3面	二十五年・二十六年総会 創立九十周年記念式典
4面	「こんにちは」
5〜9面	「東京陵水」百号までの経過
10面	「東京陵水」百号までの経過
11面	「東京陵水」百号までの経過

12〜15面	随想
16面	ゴルフ談義
17〜19面	クラブ活動他報告
20面	彦根コンフィデンシャル
21面	会費納入者一覧
22面	広告・奥付

ばしい結果であり感謝に堪え
ない。母校は大正十二年に創
立され、今日迄栄光と変遷の
九十年であつたと思われる。

その間社会に輩出した学者
人材は三万人を超え日本経済
を支えて来たと云つても過言
ではない。

特に若手学者の登竜門、イン
キュベーターとしての大学の
存在価値は評価が特に高いと
されている。一九六〇年代、
小生が在学していた当時一学
年一五〇名、全校学生六〇〇
名の経済学部であつた。

現在では一学年六〇〇名弱
の学生が在籍し、国立大学
経済学部としては最大の規模
に発展された事は素晴らしい
実績である。国立地方大学の
地盤沈下が叫ばれて久しいが
母校が全くの埒外であり続け
ている事は喜ばしい限りであ
る。

この間の大学当局及び教職
員各位のご努力、ご研鑽に
対し深く敬意を表する次第で
ある。昨年度卒業生の就職率
は九十

二%と云われている。勿論全
国トップレベルであろう。小
生が卒業した当時、就職の
心配はほとんど無く、ほぼ一
〇%上場企業への就職であ
つたかと記憶している。

就職後の実績に於いても特
記すべきものがあり全国上
場企業における、役員就任率
は私学も含めて常に十位以
内にカウントされている。

又陵水会の実力でも全国十
位以内に評価されている事は
喜ばしいかぎりである。

陵水会としては百周年、百
二十周年に向かつて、あらゆる
力を惜しまぬ所存である。

大学当局におかれても益々
奮起、努力され、いよいよ
発展される事を願っている。

四百二十数年前、井伊家が
築城した金亀城が今だに彦根
の顔であり、美しい堀が水面
をたたえ美しい城郭、城門が
いつまでも当時の威容を誇っ
ている。

世界中から観光客を集め、
地元を潤し、人々に感銘を与
えて



25 年 総 会 風 景

いる。
母校も金亀の城に負けぬ様
いつまでも風格と品格を保ち、
世界中から人材を集め、知的付
加価値を付けて、世界に送り出
し、世界に貢献する大学であり
続ける事を強く望んでいる。

二十六年度東京支部総会準備始まる

開催日時…平成二十六年七月五日(土) 午後五時～八時(昨年同様、別の部屋にて二次会も予定しております)

会場…上野精養軒(台東区上野公園四の五八 TEL…〇三―三八二―二二八一)

会費…七、〇〇〇円

記念講演…京都女子大学教授



西尾教授

西尾久美子氏滋賀大学経済学部(大46回)卒の陵水会メンバーでもある同氏は、「京都花街の経営学」、京文化、人材マネジメント論等を専門分野とし、日本特有の「おもてなし」文化、経営全般に亘る興味深いお話が聴けるものと期待しております。

西尾久美子教授の著書『京都花街の経営学』(サイン入り)(東洋経済 一、六〇〇円+税)その他の著書の予約を承ります。(連絡先…上林 E-mail

二十五年度東京支部総会

平成二十五年七月六日(土)

午後五時から、上野公園内「上



京都花街の経営学

y.kanbayashi@b-solution.jp 携帯…〇九〇―一七七六―八五四三

今年、昭和五十三年卒業の大二十六回卒業生が当番幹事を務めさせて戴きます。既に、八月より総会準備の為の会合を毎月開催し、アルコールを交えて会合は大いに盛り上がり、回を重ねる度に、中身の濃い論議が進んでおります。

現時点での幹事メンバーは、以下の通りです。(十名以上が常時出席)

重田博(連絡係)、北野義隆、高見政史、長誠次、高瀬豊、近森彦義、大北亨、池本莊司、京極政好、田中照己、二宮義彦、永田(劉) 玲子、深田睦子、高橋達之、上林好一(代表幹事)

□多くの会員の皆様のご参加を、心よりお願い申し上げます。

野精養軒」において、二十五年度東京支部総会に約二百余名の陵水人が集った。

「滋賀大学の歌」、♪遠がすむ琵琶のみずうみ、が厳かにながれ同窓会の雰囲気昂揚。

司会是小梶清司幹事長(大18)。開催に当たり、大学二十五回卒業生が当番幹事として、企画、運営をすすめた。各年度役員幹事、若手陵水会も側面協力した。

来賓に滋賀大学学長・佐和隆光氏、陵水会理事(兼名古屋支部長)・村瀬英己氏をお招きした。

初めに守谷貞夫支部長(大12)からの挨拶、引き続き、来賓として佐和隆光滋賀大学学長が挨拶された。

●第一部・総会議事審議。議長に鈴木重成氏(大7)を指名し開始された。

平成二十四年度事業報告を小梶幹事長が、収支決算を脇阪守事務局長(大21)が報告。監査報告では高木早苗監事(本24)が、二十四年度の財務目録、収支計算書とも適正かつ正確に処理されている旨報告。満場一致で承認。続いて平成二十五年度事業計画及び収支予算計画について、小梶幹事長と脇阪事務局長

から提案が行われ承認された。

役員の改選では、現任の支部長、幹事長、副幹事長は全員留任。監事の高木早苗氏、星出潔氏が退任し、新たに岡田憲治氏(大18)と松澤進氏(大38)が就任した。本部評議員として楠田迪彦氏(本24)が退任、岡田憲治氏が就任した。

●第二部・記念講演。「安心で安全な生活を送るために」を演題に元警視庁捜査一課特殊班事件担当管理官、上条正親氏が講話された。

●第三部・懇親会。午後六時三十分から、楠田芳弘当番幹事、若手陵水会の戸田友香氏(大55)の司会で開会。会場はテーブルが卒業年次やクラブ毎に分けられ、新入会員の席は中心に設えられた。

来賓として、陵水会理事・村



25年度総会 エールでリード

相続税対策・申告、贈与税申告のご相談ならば

税理士法人ファースト会計事務所

法人税・所得税(確定申告)・相続税・贈与税

〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-15-401

電話: 03-3766-5081 Fax: 03-3765-1036 HP: <http://www.tax1st.jp/>

代表社員: 公認会計士・税理士 松澤進 大学38回・平成2年卒

ウインドサーフィン部第6代主将 会計士同好会昭和63年度会長



瀬英己氏（大15）が挨拶で戸田理事長からの伝言として、九十周年募金の目標達成に是非協力して欲しいと力説。続いて乾杯の発声をお願いした。

この年発行された「東京陵水」百号を記念した懸賞論文の入賞者表彰が行われ、入賞者二名、中西三氏（大5・代理を同期の久木義男氏）、田中和夫氏（大18）が、壇上で守谷支部長から表彰状と金一封、佐和学長最近の著作「日本経済の憂鬱」（佐和学長サイン入り）を贈られた。

会場内には物産販売店が設けられ、彦根市産業部観光振興課から彦根観光の協力を求めた挨拶があった。

宴席進行の中で、支部同好会の紹介と会員勧誘。ゴルフ同好会山本保氏、散歩会林史欣氏が会の生い立ちや今までの実績を配布された資料により説明、新規会員の加入を募った。次に新陵会（詩吟同好会）を司会者が紹介。会員九人が壇上で宮野幸雄氏（大12）先導、鈴木重成氏（大7）の伴奏で「早に白帝城を登す」と「近江八景」が高らかに吟じられた。

今年度新入会員（大61）の女子3名男子2名が登壇、自己紹介と挨拶をした。「頑張れ」の

呼びかけが入り、大きな拍手で迎えられた。更にこの陵水会総会が会合の場で結ばれた秋山直登君（大51）、友歌さん（大58）夫妻の紹介がされた。

終盤に至り、当番幹事の二十回生が登壇、石黒俊一郎代表幹事が挨拶。続いて平成二十六年年度の当番幹事に当たる二十六年度の回生が登壇、代表として上林好一氏の挨拶。

締めくくりはグリーンクラブOBが湖国に想いを寄せて「琵琶湖周航の歌」を合唱。続いて高田大樹氏（大49）の滋賀大エールにリードされ全員で彦根高商校歌を高唱。

最後に中辻喜蔵氏（本21）が「陵水会は永遠」との挨拶。三手拍子も見事に和して午後八時総会が終了した。



25年総会 唱和で起立

●第四部：今回の目玉イベント、二次会。別室に有志七十余名が集まった。本会の流れがそのま

まにグラスを持つ手が触れ合い、議論で膝を突き合わせ、酔いも手伝って昂揚感一杯の語らいが続き、夜も九時半、名残り惜しみながらの閉会となった。

平成二十四年度収支報告

○財産目録（単位円・以下同じ）

現金	二、一九四
普通預金	一、〇一〇、五四六
郵便預金	八五二、二六七
定期預金	一、〇六〇、〇〇〇
合計	二、九二五、〇〇七
○貸借対照表	
【借方】	
現金預金	一、八六五、〇〇七
基本金引当預金	一、〇六〇、〇〇〇
合計	二、九二五、〇〇七

現金預金	一、八六五、〇〇七
基本金引当預金	一、〇六〇、〇〇〇
合計	二、九二五、〇〇七

【貸方】	
前受金	六七八、〇〇〇
基本金	一、〇六〇、〇〇〇
繰越金	一、一八七、〇〇七
合計	二、九二五、〇〇七

○収支計算書	
【支出の部】	
総会費	一、八五二、八九二
運営費	一〇〇、〇八〇
印刷費	四〇五、八七五
通信費	三九九、四七八
計	一、一七九、五〇七

次年度繰越金	五〇、〇〇〇
計	四、五一九、五〇七

【収入の部】

ホームページ費	三六、八四五
編集費	一五〇、〇〇〇
事務用品費	五、五五四
交通費	八〇、六四〇
雑費	四七、二六五
次年度繰越金	一、一八七、〇〇七
計	四、二六五、六三六

【収入の部】

年会費収入	一、三八〇、〇〇〇
総会会費収入	一、二五三、〇〇〇
寄付金収入	七〇、〇〇〇
新聞広告収入	一九九、三七〇
本部活動助成金収入	一三二、三〇〇
雑収入	三、六〇四
前年度繰越	一、二二七、三六二
計	四、二六五、六三六

前年度繰越	一、二二七、三六二
計	四、二六五、六三六

平成二十五年収支予算書

【支出の部】	
総会費	二、一〇〇、〇〇〇
運営費	一〇〇、〇〇〇
印刷費	四〇〇、〇〇〇
通信費	四〇〇、〇〇〇
広報活動費	一〇〇、〇〇〇
編集費	一〇〇、〇〇〇
事務用品費	一〇、〇〇〇
交通費	八〇、〇〇〇
雑費	五〇、〇〇〇
次年度繰越金	一、一七九、五〇七
計	四、五一九、五〇七

次年度繰越金	五〇、〇〇〇
計	四、五一九、五〇七

「総会に出席して」

仕事 陵水会 結婚

我々、滋賀大卒に求められているものは、滋賀大学で学んだ基礎学力の応用であると思います。現在の仕事も単純な仕事内容であったとしても、滋賀大卒であることに誇りを持ち、常に考えながら仕事に向き合うこと



秋山夫妻

が、遠回りと思われる方もいるかとは思いますが、私自身は、最短の道であると思ひ現在の仕事に取り組んでおります。知識はいつか必ず武器になると信じて、入社三年目位の方には、出来るだけ知識を得る為に時間を割いて頂きたいです。

その点、陵水会は同じ会社では得られない知識をくださる偉大な先輩方が大勢いらっしゃいます。最高の場です。

そして、私はこの陵水会場で最愛の妻と出会う事ができました。結婚は、私生活は元より仕事に対して、より力をくれるものでありました。これ以上は、ノロケのみになりますので、割愛させていただきます。

私自信はまだまだ若輩者でありますので、ご参考程度にお読みいただければ幸いです。

陵水会総会に参加して

名村 摩莉那

私は学生時代にサークルには所属していたものの、OB会は一度もありませんでした。

ですから今回は学生を卒業し、上京し、就職を経て、人生初のOB会として出席させて頂きました。

会場に行くと、年齢に関係な

く沢山の方がいらっしゃることに驚きました。

まだ卒業したてで学生気分が残る私を、温かく迎えてくださりとても嬉しかったです。また、OB・OGの趣味の集まりから学生の就職支援まで行っている陵水会の活動内容にびっくりしました。防犯についての講演会など、今後役立つお話も聞けて大変興味深かったです。

この陵水会総会をきっかけに、現在では休日の際に交流するOB方も何名か出来ました。今後とも是非参加させて頂きたいと思いました。この度は本当にありがとうございました。

陵水会総会に参加して

光明寺 拓貴

私は今年四月に上京して、初めての一人暮らしや仕事に対して不安だらけの状態でした。総会に参加させて頂いて多くの諸先輩方とお話をさせて頂く中で、社会人としての心構えや仕事に取り組み姿勢を教えて頂きました。次会開催時も是非参加させて頂きたいと思います。来年は滋賀大学の後輩も上京すると思うので、少しでもお役にたてるような人間になれるよう精進したいと思っています。

滋賀大学経済学部 創立九十周年記念式典挙行

大正十一年十月二十日、彦根高商設置から本年の九十周年を迎え、大学経済学部主催の「創立九十周年式典」が、平成二十五年十一月三日（日）、百六十余名の多数の来賓を迎えて挙行された。

文部科学省・豊岡宏規国立大学法人支援課長、嘉田滋賀県知事はじめ、国際交流協定校の中国・東北财经大学およびメキシコ・グアナフアト大学からの関係者、大分大学、和歌山大学のそれぞれの経済学部長の参加があった。

記念講演は、金井一頼大阪大学名誉教授による「企業家活動と地域イノベーション・エコシステムの形成を目指して」が行われた。

祝賀会には、元学長・宮本憲一氏の出席もあり、当陵水会から戸田一雄理事長も出席、学生考案のゆるキャラ「カモンちゃん」の飛び入り参加などで大いに盛り上がった。

○経済学部創立九十周年記念講演会

平成二十五年十一月二十三日

午後二時から、陵水会主催による記念講演会が、母校講堂で開催された。

当日は天気も良く、聴講者も開会時間前から集まり、講堂は立錐の余地が無いほどの状態だった。経済学部体育会設立五十年記念式典に参加の卒業生がその多くを占めた。

司会を陵水会副理事長原綱宗



丹羽宇一郎氏

氏。挨拶と講師紹介を陵水会理事長戸田一雄氏がおこなった。

講師は元駐中国大使、伊藤忠商事元会長、滋賀大学名誉博士の丹羽宇一郎氏が「もし私があるのなら、こう生きてみたい：若者へのメッセージ」と題して講演された。最近の中国情勢を駐中国大使の豊かな経験をもとに解説。

閉会の辞を守谷貞夫陵水会副理事長（東京支部長）が講師へ

のお礼の言葉に併せて行った。

○経済学部体育会設立五十年 記念式典

平成二十五年十一月二十三日午後三時四十五分から、彦根市松原の彦根ビューホテルにおいて体育会設立五十年記念式典と陵水会、体育会共催の記念パーティーが開かれた。

ホテルの大宴会場は約四百五十人の出席者により満席の様子。現役の体育会所属の学生が甲斐甲斐しく立ち働いている。

前半は体育会設立五十年記念式典の開催。開会宣言を司会担当の山崎健晶氏（4回生・ボート部）が行う。主催者を代表して体育会委員長塩田弦紀氏（4回生・剣道部）が、「良き伝統を守る一員になったことに誇りを感じる。この伝統を引き継ぐことを使命としたい」と挨拶。共催者代表挨拶を若園清和氏（大22回・ボート部・吞亀会会長）。

来賓祝辞を佐和隆光滋賀大学学長、梅澤直樹同経済学部学長、山内隆同名誉教授。

体育会設立五十年記念誌発行披露では塩田弦紀氏、深谷太一氏（三回生・陸上競技部）から長崎正巳滋賀大学経済学部事務

長と佐々木勉陵水会事務局長へ
記念誌が贈呈された。

体育活動功労者表彰では、先
ず宮本孝表彰委員会委員長（滋
賀大学教授）が挨拶。各クラブ
（二十七クラブ）がOB会と協
議して、各クラブの活動に最も
功労のあった人を選考し、陵水
体育活動九十周年功労者表彰選
考委員会の承認により決定され
表彰した。該当者四十三名の内
には部員の他に指導者、支援者
八名が含まれていた。更に陵水
体育功労者として、山内隆滋賀
大学名誉教授、三神憲一同名誉
教授、清水哲雄同名誉教授と、陵
水艇友会、陵水帆船会が体育会
の発展に尽力されたこととして
表彰された。

宣誓を深谷太一氏が力強く行
い、司会の閉会宣言で表彰式が
終了した。

○九十周年記念祝賀パーティ

陵水会、体育会共催の記念パ
ーティが午後五時十五分から同
じ大宴会場で開催された。

旧グリークラブ有志による彦
根高商校歌と滋賀大学学歌が斉
唱されて開会された。開演の辞
を司会担当の松林茂晴陵水会理
事。戸田一雄理事長の挨拶に続
き、佐和隆光滋賀大学学長の祝

辞が述べられた。

アトラクションとして謡曲、
連吟で「竹生鳥」「仕舞」「田村」が、
正面を舞台として、旧謡曲部、旧
能楽部OBによって演じられた。
乾杯の杯を堀川馨元陵水会理
事長の発声で挙げて宴会が開か
れた。

引き続き宴会の進行の中で、
邦楽部の現役生による、琴、尺
八、三味線などを交えた演奏が
繰り広げられ、旧詩吟部OBの
詩吟が朗々と会場に流れた。

宴会も終盤に近づき、エール
の高らかな昂揚感が会場を満た
して、全員で偲聖寮寮歌を合唱、
滋賀大学経済学部の一休感を形
成した。

森本正陵水会副理事長の閉会
の辞と共に午後七時過ぎに閉会
になった。



祝賀パーティの乾杯

こんにち

小野 孝史氏（大19回）

（おの たかし）

株式会社IIM代表取締役会長
を、去る九月一八日（水）文京
区の本社に訪問してお話を伺い
ました。多くのエピソードをお
話しいただきましたが、紙面の
制約からご本人の了解を得て割
愛した部分が少なからずあるこ
とを了承下さい。

——本日はお忙しいところ、あ
りがとうございます。「東京陵
水」一〇一号に掲載させていた
だきたいと思っております。早
速ですが小野さんのご出身は

小野 生まれは兵庫県の明石市
です。高校が神戸の長田高校で、
昔の県立三中です。私は長男で
したから、家を継ぐものと思っ
ていました。それで、高校を卒
業して親父の後を継ぐんだから
大学へは行かないよ、と言った
ら親父は、今はいいいチャンスな
んだから大学へは行つとけと言
うんですね。



——それで環境も良いし遊びに
もよいし、と言う訳で滋賀大を
選ばれた訳ですね（笑）。大学
では何かスポーツをやられたん
ですか

小野 空手部です。1回生、2
回生の時はずっとやっていま
した。空手部はハードな練習で
月曜から土曜まで、土曜は二
三時間でしたけれど、月曜から
金曜までは四時から八時までの
四時間の練習でした。夏の合宿
くらいになると人並みについて
いけないようになりましたね。

——空手部は強かったですか？

小野 いや、滋賀大そのものは
あまり強くなかったです。強か
ったのは、佛教大とか京都産業
大とかでした。入学時には二十
一人入りました2回生に上がる
時に、何と七人しか残らなかつ
たです。ものすごいハードな練
習で毎日毎日、組手といって、実
戦のようにやるんですね。向こ
うが蹴ってくるのを今まで腕で
受けていたものを、体でかわせ
るようになるんです。それはや
っぱり良かったですね。実戦空
手で防具はなにもつけず胴着一
枚で、板を立てて藁を巻いたも
のを毎日毎日、一、〇〇〇回以上
どついたり、蹴ったりする訳で
す。

——ところで、自動車部をつく
られたということですが、
小野 森紀正さん（大18）の発
案で一緒に自動車部をつくらせ
ていただいたんです。

——まあ、部をつくるというこ
とになると無理があったり、い
ろいろ大変でしょうね？

小野 そうなんです。一番お金
が要るクラブです。幸いなこと
に滋賀大学の卒業生、昔の彦根
高商の卒業生の方が自動車会
社のトップに結構居られるので、
そういう所に趣意書を書きまし
て、手紙を出す、電話をかける、
あるいは会いに行く、というこ
とから始めました。免許を取る
までの練習場所が必要だったの
で、今もあります。佐和山自動
車学校が朝八時から始まる、そ
の前の六時から八時までの間、
無償で貸していただいたんで
す。その代わりname & takeで
すから掃除を我々がやって、そ
の見返りとして使わせてほしい
ということでした。あとは近江鉄道に、ガソリ
ンも必要ですので、ドラム缶一
本分をいただきましたね、これ
をベースに燃料を維持しまし
た。さらに車本体が一番大変だ
ったのですが、滋賀大学・彦根
高商の先輩で自動車会社の社

長、オーナーなりCEOになられて、いろいろな大学へ行く、あるいは体育会の連盟本部へ行くとかで結構経費がかかるんですね、特に交通費が。それを自動車部が一手に引き受けようと、電車賃の半分でいいと、しかも車で行こうということにしたんですね。体育会としては電車賃が半額ですから経費節減になる、またその経費は自動車部に



落ちますから、自動車部は当然人件費はタダですから、それは全部自動車部の運営費になるんです。体育会がプラスになると、自動車部もプラスになるという、これしかないですね。

——それは良いアイデアですね。

小野 ええ、しました。私の代で九州と東北の遠征をやりまし

た。何をやったかというところ、これもやはり部費の寄付集めの行為なんです。我々は東北地方に交通状況調査に行く、ついでにきちんとしたレポートを差し上げるので応分の寄付をくださいます。で、先輩にザっと連絡しまして、その時に佐和山自動車学校とか近江鉄道とかそういうところにも行きまして、寄付をいただきました。一時間に交通量は何台とか、田舎の道は悪いですねとかそんな感じでレポートをつくりまして、それでもまあ質より量だということで結構な量を積み上げました。そういう遠征を私の代で二回やりました。やはり遠征をやるのと部員の結束も高まりますね。同じ釜の飯を食いますし、泊るのはだいたい大学の寮でしたから殆どタダなんです。泊ったのは一橋大学の寮とか東北大学や茨城大学とかに泊めていただいて、だいたい夏休みが多かったですね。それで日東トヨペット株式会社を運営されていた岡田先輩のところへも行きました。おー、よう来た、ヨシッ今日、飯を食いに連れて行ってやるよということ、バーンとした膳が並ぶ料亭で、十人以上がいたと思うんですがズラーッと並べてご馳

走していただいたんです。

——そうですか、感激ですね。

小野 そうです。岡田先輩には、物心両面でサポートしていただいたんです。そういう先輩がいらっしゃったから後輩達もついて来たんですけれど、楽しかったですよ。

——お話を伺っていると自動車部の創立とか、空手のこともそうですけれども、いろいろと人を巻き込む、しかも自分の思っているところへズーッと持っていく政策的なものや、非常に逞しさも持っていていらっしゃるように見えますね。ところで卒業されて、就職されたのは昭和四十六年ですか？

小野 はい、昭和四十六年です。その時はNCRという会社へ入社しました。NCRも面白いですよ。滋賀大というのは働き者だという定評があったんでしょ。うね。四人受けたんです。試験の時、ハイ滋賀大の人こちらへ来て、ということで滋賀大生ばかり別室へ集められて一緒に試験を受けたんですね。他の学生達は大きな会議室で机をならべて試験問題を配られている訳です。我々四人だけパツと問題を一枚ずつ配って試験官は外へ出ていってしまうんです。

経営再建コンサルタント協同組合

理事長 長井和男 (大22回)
公認会計士

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-5-4 共同ビル(八重洲口)505

TEL 03-5255-3511 FAX 03-5255-3512

E-mail : nagai@sai-ken.or.jp

——特別待遇ですね。

小野 そうなんです。職務を選

ぶ時に、私はよく分からないです
すけど「EDPS営業スペシャ
リスト」というのが書いてあつ
たんですね。それを見ましてそ
こに○を付けたんです。私はE
DP Sは何かわからないけど、
営業スペシャリストという名前
に懂れて、これだということ。
そしたら立ち上がったばかりの
コンピューター部門だったんで
す。なんとコンピューターのコ
の字も知らないのに、そこに配
属されて最初はチンパンカンパ
ンです。けれどNCRって本当
に良かったと思うのは、一年八
ヶ月一切お客様のところへは出
さずにずっと勉強させてくれる
んです。営業マンですけれど、
営業の勉強はもとよりコンピュ
ーターの知識、システム設計と
いうSEがやるような勉強もさ
せられるんです。プログラムも
技術者がやっているようなこと
をやらされる訳です。で、僕は
その当時の、見習い時代の課長
に食ってかかったんです。課長、
おかしいじゃないですか、なん
で営業スペシャリストがこんな
プログラムを書かなければなら
ないんですか？と食ってかかっ
たらその当時の課長が、まあ小

野君、そう言いなさんな、今や
っていることが将来きつと役に
立つんだから六ヶ月我慢してプ
ログラムを組みなさいと言うん
ですね。それがやはり幸いした
んでしょね。この会社をつく
った時のシステム、いわゆる売
り、買い、請求、営業管理等とす
べて私が手造りでつくりまし
た。やっぱりそういう役に立つ
ことがありました。そんな感じ
で就職して、ただ就職した三日
目に大事故に会いました。

——事故ですか？

小野 はい、崖から落ちたんで
す。NCRは教育にもお金をか
ける、教育場所も軽井沢のプリ
ンスホテル系のグリーンホテル
というところで最初のオリエン
テーションを四月に一ヶ月間や
るんです。私、三日目に庭でバ
レーボールをやっていたんです
が、ボールがポーンと飛んでき
たのをカッコよく見せてやろう
と思って飛びついたら下が崖だ
ったんですね。それで真つ逆さ
まに落ちまして四ヶ所骨折で
す。よく生きていたなと後日言
われたくらいでした。それで救
急車で木屋医院というところに
運ばれたんですけど、看護婦さ
んがおられまして、で良く見た
ら、手は普通こういう風に曲が

りますよね、それが逆に曲がつ
ているんですね。それに骨がピ
ンと飛び出しているんです、左
手が。アレ、えらいことになっ
たなと思ひまして、私生きてん
のー、看護婦さん？と言つて、
ちよつと生きているんだつたら
手を握つてよー、と言つて手を
握つてもらつたんです。手を握
つて、アッこれは生きてるんだ、
も四ヶ所、足も骨折している、
それで二週間くらいジツと何も
できず天井ばかり見て、三週間
ほど経ってから手術しました。
こんな感じで三日目で同僚の皆
から置いていかれたんです。と
ころが、人間万事塞翁が馬つて
言いますでしょ、すごくその通
りだと思つたんです。怪我をし
て入社時のオリエンテーション
は一切受けていないんです。普



通は、多分そこでクビだと思
うんです、ところがNCRはです
ね、マンツーマンの先生をつけ
てくれたんです。普通は一人の
先生が、何人もの新人を相手に
教育していく訳ですが、その先
生がマンツーマンで全部私に教
えてくれるんです。しかもその
先生というのは平均年齢二十七
才の女性なんです。

——それは嬉しいですね。

小野 ラッキーでしょう、こち
らが二十二才で向こうは二十七
才のお姉さん、一番女盛りです
よ。それで可愛がつてくれるん
ですよ。みるみるコンピュータ
ーの知識がついていきまして、
だつてマンツーマンで分からな
い所は、それはこうよ、で、ど
んどん吸い込まれるように。実
は、翌年新入社員が入つてきた
ときに、我々の中から数人選抜
して、一ヶ月間ホテルで一年後
輩の面倒をみる、その役割に選
ばれて翌年は私が先生役になつ
たんです。

——本当に、塞翁が馬ですね。

小野 そうですね、何が幸い
なり不幸になるか分からないで
すね。

——小野さんが運がいいだけで
はなく、会社が小野さんのそ
れだけの資質というか将来性を

読んでいらつしやつたのでし
うね。

小野 いやいや三日でいなくな
つて、それは分かる訳ないです
よ。時々言われたです、三日で
いなくなった有名人はお前か？
つて。

——それで今の会社を設立され
るまでは、ずっとNCRですか？

小野 いえNCRに七年四ヶ月
いましたが、スカウトされたん
です。実はNCRの中でも営業
で業績日本一になったことがあ
るんです。それで目立つたとい
うか、白羽の矢が立ったんでし
ょうね。ある時、面白い会社が
あるぞ、と。どんな会社？と聞
いたら、IBMをやつつける会
社だ、と。当時IBMはこれ以
上大きくなると米国の独禁法に
抵触するとかしないとかとい
う、そんな感じのガリバーだつ
たんです。それをやつつける会
社なんだ。IBMのソフトウェ
アを使ってIBMではない機械
を動かす、しかも価格はものす
ごく安いよ、ということとどん
どん大きくなった会社がありま
した。アメリカのアムダールと
アイテルという会社で、アムダ
ールは富士通と組み、アイテル
は日立と組みました。IBMと
全く同じ動きをするコンピュ

ターとして安く売ろうというこ
とで、アメリカでかなり成功し
たんですね。で、日本に進出し
てくるという時に、NCRの営
業というのは割と聞こえていた
んですね、よく働かし、元氣者
が多いし、バカも多いんですが。

I B Mの創始者のワトソンさ
ん、実はNCRの営業マンだっ
たんです。NCRのモットーは
「営業は生まれつきのものでは
ない、営業はつくられるものだ」
というもので、そのモットーに
従って徹底的に教育する訳で
す。まあそういうことで、私も
NCRで営業で日本一になった
こともありましてから眼をつけて
もらったんでしょうね。I B M
をやっつけるといふ、そういう
コンセプトですから二つ返事で
行きました。そこで出会ったの
が富士通から入った河野という
男です。私は営業、彼は技術で
したが、その河野が今、当社の
社長をやっています。そして丁
度私が十年、彼は二ヶ月早く入
りましたから十年二ヶ月経った
時に二人で独立しよう、お前が
つくったソフトウェアを俺が売
る、ということ二人で独立し
たんです。

——それが現在の会社ですか？
小野 そうです。十一月で二十

六年目になりますね。丁度四十
才の時に独立したんです。

——今のお仕事は、コンピュー
ターの世界のいろんな問題点を
どんなに解決していくようなこ
とをやっているのでしょうか？
小野 はい、そうです。コンピ
ューターはますます浸透し、し
かもますます複雑化している訳
ですね。だから本当に大きな、
例えば銀行とか製鉄所とかある
いは証券会社とかで動いている
ようなコンピューターは本当に
うまく動いているの？とか分から
ないんです。それを我々のソフ
トウェアを使えば常時うまく動
いているかどうか、うまく動い
ていないのならどこに問題点
があるか、そしてその問題点を
どうしたら解決できるかという
ことを、変な話ですけど、た
ちどころに見つけてきますよと
いうのが我々のソフトウェアな
んです。これはいけるとはいま
した。これを最初に作ったのが、
NCRをやめて入ったアイテル
で河野が技術部長で、私が営業
部長をクビになって社長室長兼
企画部長になった時なんです
ね。河野がつくったソフトウェア
ですが、たまたま僕がコンピ
ュータールームへ行ったら、ダ
ーツと答えが出ているコンピュ



ーター用紙があるんです。これ
なーに？って聞いたら、お客様
から借りたデータを解析した
ら、分かったんですよ、と。

——それは、河野さんがつくっ
たソフトウェア？

小野 はい。これ売れるじゃな
い、これ、売ったら絶対大儲け
できるよ、ということなんです。
社長に我々のメイン商品にしま
しょうと言いに行ったんです。

そして、いやそれは今我々が
輸入して売っているものとバッ
ティングする、だからそれはイ
カン、そんなものは売れない、
と。じゃ、社長、これ二人で売
りますよ、版權は会社にあります
から、版權を売って下さい、
ということ。一、五〇〇万円、当
時の一、五〇〇万円は相当な金
額でしたけれど買いました。独
立の時の資本金は二、〇〇〇万

円にしました、借りまくって。

二人でやっとな、一、〇〇〇万円く
らいしか出なかったですね。そ
こで金主をさがしに行くとき、
マスコミの人がすごくいろんな
人を紹介してくれたんです。最
後に行きついたNSK（日本ソ
フトウェア開発）の社長さんが、
じゃ私が出してあげようとい
うことで一、〇〇〇万円出して
いただきました。そして、ソフ
トウェアの版權は割賦返済にし
ていただきまして月々返済して
いったのですが、実は会社は一
年から赤字になりました。

——いろいろと話を伺っており
ますと、それこそ為転変とい
うか色々あったんですね。と
ころで、これからのコンピュ
ーターの世界というのは、ます
ます浸透していくという状況で
すか？

小野 ええもちろん、もう際限
なく増えていくでしょうね。私
は二十二才から四十三年間コン
ピューターの世界にいますけれ
ど、直近の五年間とそれまでの
三十八年間を比べてみると、直
近の五年間の方が何十倍ものス
ピードでコンピューターの世界
は変わってきています。もう指
数的な立上りですね。これから
どんなことになるか分かりませ

星出公認会計士事務所

所長 星出 潔 (大13回)

〒112-0002 東京都文京区小石川2丁目3番28-805号

TEL 03-3815-3451 (代表) FAX 03-3815-3637

E-mail : khoside@cameo.plala.or.jp

ん。身近なところで言いますとD N Aを解析するのにコンピュータがなければ絶対できません、もう殆どD N Aの遺伝子の状況は分かっていますもんね。全部コンピュータ解析ですね。あるいは「京」というコンピュータが世界一になりましたが、その一、〇〇〇倍くらいのコンピュータができるらしいですね。

——小野さんの会社がいいのは、システム運用という、地味なだけけどコンピュータ利用が増えれば増えるほど仕事の量がどんどん増える分野を選んだところだと思うんです。当分はお客様のポリウムは心配しなくていいですね。

小野 そうなんです。やっぱり会社をつくる時に最初に思ったのは、目的は会社をつくることではなく会社を存続させることだということです。つくるのは誰だってできますから。でも殆どの会社が創業して五年以内に九十%以上が廃業しているんですね。存続するために会社をつくるんだから、これは存続できるかということを最初にシミュレーションしたんです。で絶対存続できるという結論に達した訳です。自信もありましたし、

何故かと言うと私がコンピュータメーカーにいましたから。お客様が問題点を指摘してきたらメーカーは困るんですよ。けれどもメーカーの姿勢は、知ら

しむべからず寄りしむべし、なんです。だから絶対に本当のところを知れるようなそういうソフトウエアは作らない。だから我々はいつまで経つても第三者的に、公正な評価ができて問題点を指摘し、ムダはムダと指摘することができれば、必ずお客様はついて来るということで、これ一本でいいということにしたんです。

——御社にはますますフォローウインドですね。

小野 そうは思いますね、かといつてそれに慢心していたらしようがないですから。当社の教育システムなんですけど殆どの社員が新卒なんです、もちろん必要に応じて中途採用もしますが三期目からずっと新卒で来たものですから九十五%は新卒なんです。私自身、新入社員教育を一年八ヶ月受けましたでしよ、それが本当に良かったので当社は一年間座学です。一年経って卒業試験をやつて、僕のお墨付があればフィールドに出す、お客様のところに行かせる、と

いうことにしているんです。——いい形で人材育成をされているんですね。

小野 そうですね。何故かと言いますと、我々はプロでないとお客様と話をしちやいかん、というのが私の考えなんです。ビジネスの基本はgive & takeです。我々からしてみると、かけ出しの営業が行つて一回会つていただいた、ところがお客様か



らみて、こいつ何も知らないね、こうなつたらおしまいです。何か用事があつたらまたこちらから電話かけるよ、と追い返されてそれで終わりです。

かけ出しというのは誰だって分かりますけれど、パフォーマンス管理に対しては、お客様よりよく知っている或いはお客様と対等に話ができるようになったら、これはI I Mの営業はかけ

出しだけれど、パフォーマンス管理についてはえらいよく知っているよね、そうしたら、これはつきあう価値があるかもしれない、自分が管理するものがあるかもしれない、それでお付き合いたいだけの、まあお付き合いで、何も予備知識もないような奴が行つても絶対お付き合いは出来ないですね。我々のお相手は超一流企業なんです。それなりの理論武装した新人を行かせないとダメなんです。それでお金かけています。途中でやめられると困るんですね。一人前になるのに三年かかるんですよ、三年間もう心血注いで。

——そこは小野さんのご経験を生かされて、小野さんも超一流企業をスピンアウトした経験があたりでしょう？

小野 あーハイ、ウチは給料もいいですし労働環境は非常にいいと思います、やめる人はいませんから。

——いわゆる転職というかヨソに眼を向けさせないように、よく管理されているなあと、それをちよつとお伺いしようと思つていたんです。

小野 はい、待遇という面では年収がそうですし、年収に換算

できないものとしては労働時間がありますね。ウチは一ヶ月の労働時間が百四十八時間なんです。たいいてい大企業で百七十時間くらいです。ですから大企業なみに普通の勤務をしたら二十二時間の残業代がつくことになります。それと休日が年間百四十一日ですが相当多いんですよ。普通は百十日前後ですね。私は従業員に、お客様を大事にして欲しいんです。ところが、大事にしてくれるはずの従業員を大事にしなければ、絶対にお客様を大事にしてくれるはずがないですね。従業員であるあなた達を大事にする、だからあなた達もお客様を大事にしてよと、あなた達の給料はお客様から貰っているんだよ、と。そういう感覚でいるわけです。そしてそのように従業員に言っています。自分が大事にしてもらっていないのにお客様を大事にしろと言っても、誰もそうはしません。自分がやってほしくないことはやらない、自分がやってほしかったことは社員にやってあげようと、そういう感覚でいるんですね。ただ休んでばかりいると、何じゃあの会社は、と思われまますから当番を決めまして「ハイッI I Mです」と言う

「東京陵水」百号までの経過(続き)と
バックナンバー収録状況(東京陵水編集部)

「東京陵水」百号発行に当たり、創刊号から百号までの発行状況を掲載した。編集部ではこれを機会に平成二十五年一月からバックナンバーの収集に当ることになった。発行号数を創刊号から七十五号までにしほり、元編集担当（東京支部会員）平成十年以前の卒業生、陵水会本部、配布先（主として他支部）、印刷会社等に逐次収集の呼びかけを行ってきた。

を發刊することができました。」とあった。百号の記事で發行号數から昭和三十五年春の創刊と推定して記述したが、これは正確でなかつたことが判明した。

平成二十五年九月、東京支部の臼井靖氏（大7）からお贈りいたのが次の号である。創刊号、二、三、四、五、六、七、一〇、二十八。であつた。特に創刊号が手に入つたことは編集部として大きな喜びであつた。その後十月

ものであった。「旺盛な学問的精神」「調和のとれた学風」「質実で自由な学風」に集約された。旧学舎全景の写真が掲載された。

産学一体講座の下に、当時の田代茂樹東洋レイヨン会長の、母校で開かれた特別講演の内容が掲載されている。

母校ニュースとして「学園だより」の欄が設けられた。今号はページ数が飛躍的に増えて十二ページになった。その理由として、広告が十六件と多くの紙

面をとったこと、各卒業年度でしきりに開催されていた同期会

平成二十五年一月、「東京陵水」百号を御覧になった広島支部長石井和佳氏（大3）から、部員に「この雑誌は、私達にとって大切なものだから、ぜひ読んでほしい」といって、部員一人ひとりに一冊ずつ配られた。これは、部員一人ひとりが、自分たちの活動の記録として、そして、後進に伝えるための資料として、大切に保管してほしいという思いで、部員一人ひとりに一冊ずつ配られた。

寄稿、会員の美談、会員の個々の動向、支部総会開催記事（写真、役員氏名、会計報告）会員の異動、投稿による近況報告、同期会「わが青春の彦根」を追想して

二十六、二十八、三十一、三十二、の各号のご寄贈を戴いた。

その際「二十八号の高安良雄新支部長が第一号は昭和三十七年発行と挨拶されている」とのご指摘があった。昭和四十八年九月発行の第二十八号で高安良雄支部長が述べられた挨拶には

これにより現編集部で確保している七六号以降を除き、収集されていないのは次の各号である。八、九、十一、十五、十八、二十一、二十四、二十九、三十、三十四、三十七、四十三、四十八、五十三、五十六、五十九、六十一、七十一。

便り、随筆和歌などの文芸作品など盛り沢山の内容がB4版大の八ページに編集されている。年度総会を編集の基調にするところは創刊号から今号まで引き続いてゐる。

第二号（昭和三十八年五月十五日）のトップ記事は、「学園の便り、随筆和歌などの文芸作品など盛り沢山の内容がB4版大の八ページに編集されている。年度総会を編集の基調にするところは創刊号から今号まで引き続いてゐる。」

認められたものが多かった。彦根との邂逅（布施浩一氏）は現在の紙面で六ページにわたる大作であった。また、この頃から既に会費納入者一覧で納入者の氏名が記載されており、会費納入の呼びかけは今日まで支部財政の充実を期待しつつ続いて

当時（昭和三十七年）、高橋伝之助氏、浜口信平氏、佐野志郎氏、木村信一氏の諸兄と会誌と名簿の発行にご協力願ひ昭和三十七年末第一号の『東京陵水』

新しく整備された各号の主な内容を紹介する。（創刊号から第五号まで）

創刊号（昭和三十七年十二月二十四日）は、「会員も七百名。

歴史と伝統」と題し、当時の芳谷
有道経済学部長の寄稿である。
誕生したばかりの機関紙を通し
て、滋賀大学経済学部 of 学風を
徹底して伝えたいと言う主旨の
第三号（昭和三十八年九月二

十日)は三十八年度総会記事が一面を飾った。会員二百名が東京会館スカイルームに会して恩師交えての懐古の宴となったと報じている。家族映画会がこの年七月に開催され、彦根の街、母校の校庭などでロケをした「青い山脈」を観賞した。この会の開催に至る経緯が詳述されている。「陵水をになう人々」のコラムに芳谷有道教授が記述された。初めて座談会記事が「艇友会OB大いに語る」で登場。

高商時代のボート部の皆さんが「古き良き時代のカレッジライフ」を思う存分語っている。随筆では「俳句二十年」を宇野宗佑元首相が寄稿していた。

第四号(昭和三十九年二月五日)、緊急幹事会が開催され席上、支部長が黛多慶男氏から、浅川勘一郎氏への交代があった。一ページ掲載の秋山範二元教授の寄稿「時既至」は時代を超えた内容である。桑原晋元教授が、三十九年一月の新年祝賀会で講演した「新年・経済展望」の内容を論壇として掲載。近況として矢野貫城元高商校長の藍綬褒章受章祝賀会が報告された。

第五号(昭和三十九年五月三十一日)昭和三十九年幹事会で議題に「東京陵水」の発行日程、

回数が挙げられ、発行月を、二、五、八、十一の年四回とし、八ページ建てにすることにきめた。高橋源次元教授の「自然と文化」が一ページ。剣道部の座談会は出席者十四名で経済学部卒が三名加わった。内容が多くなり次号へ「続く」となる。

八ページ建てになり。広告が二件になった。以降六号以下一〇号までの推移。

第六号(昭和三十九年十月三十一日)八ページ・四〇周年記念松下幸之助氏講演内容、第二回家族映画会「花の生涯」の観賞。

第七号(昭和三十九年十二月二十日)十二ページ。編集後記に「寄稿する会員が多く、膨大な原稿もあり出来るだけ収録

経済学部グランド芝生化記念式典

吉田 勇 夫(大15)

平成二十五年九月十五日(日)午後一時半台風十八号が日本列島に接近し、風雨の中で「経済学部グランド芝生化記念式典」が開かれた。

天然芝に覆われたグランドの中央に設けられた会場に佐和学長ほか学校関係者、ラグビー部・サッカー部・陸上部の各現役・

するとして発行日が遅れ、ページ数が増えた：(要旨)とある。工学部設置問題がトピックで三ページを占める。

第八号、第九号が欠番。(昭和四十年は二回の発行と推定される)。

第十号(昭和四十一年一月一日)大阪支部総会が五百人以上の出席で空前の賑わいだった。

「東京陵水」紙は十号までに今日までの編集スタイルが形成された。前号でも触れたが、積極的な寄稿が少なくなったことが残念である。百号記念論文も応募者が少なく、「考えて書いて主張する」時代から「見て感じて交換メールする」時代になった。

芝生化によってクラブ活動がますます活性化されるよう期待します。」と述べられた。

続いて佐和学長から「今回の芝生化記念式典にラグビー・サッカー・陸上部の現役及びOB諸君が大勢参加され有難うございます。特に昨日、大学十六回の同窓会がセットされ、遠くはアメリカのテキサス州から、また今回の式典にはオーストラリアのゴールドコーストからも参加されたと聞きました。その先輩に大いに感謝して下さい。

陵水会に参加するたびに、ラグビー・サッカー・陸上の先輩からグランドの芝生化を訴えられ、私めかねがね滋賀大学に入って良かったと思える大学にしたいと思っていました。四回生



記念式典 テープカット



新装なった芝生化グランド

は半年間、一回生は三年半ですが、その経験を積んで欲しい。」三神名誉教授から事業経過報告があり「グランドの芝生化に以前、島村学部長のとき照明灯を八年かけてやっと完成。さらに、六・十月には琵琶湖から吹いてくる風で授業の際に砂まみれになり、学生から芝生化の声が出ていた。又、夏の強化練習時にラグビー・サッカー・アメフトの女子マネージャーが三十分撒水しても、すぐ乾燥してしまうので、どうかしないといけないと思っていたところ、ラグビー部の総会にてOBの室殿氏からオーストラリアではラグビー場はすべて芝生だよ、経済学部グランドも芝生化にしてはと

取大・京都大学へ飛び、状況を聞いた。滋賀大学では三つのクラブと陸上部が使用しており、なんとか芝生化に進めたいと思っていました。

その当時の二宮事務長と西川学生支援課長の大変なご努力によりスプリングカラーの設置と芝生化が進展。今年の六月二十六日には中野先生を始め学生も含め二百名以上、また早朝から夕方まで芝生の植え付けをして、ようやく今日の式典を迎えました。

陵水会Facebook拡大中

より有機的な同窓のつながりを目指して始めました陵水会のフェイスブック運用もおかげさまで今年一周年となりました。現状、広報ページのいいね！数は約一万となり大学並びに大学同窓会分野では全国一（ともに二〇一三年十二月一日現在）、卒業生および在校生等の関係者しか入会できない外部非公開の承認制グループも昨年末比倍増の七〇〇名を超えてまいりました。特にグループにおきましては、実業界で活躍中の同窓生を紹介するコンテンツの編集や、

芝生の維持管理には今後も学生課の御指導を頂くこととなりますが、想像以上に費用がかかりますので各クラブのOB諸氏のご協力をお願いしたい。」

佐和学長・梅澤経済学部部長・三神名誉教授の三名によるテーマパークがグラウンドでなされた。チア・ダンスサークルSpiritsによる演技披露と、ラグビー部OB諸兄及び現役部員による模範練習が風雨のグラウンドの中で力強く行われ記念式典を無事終了した。

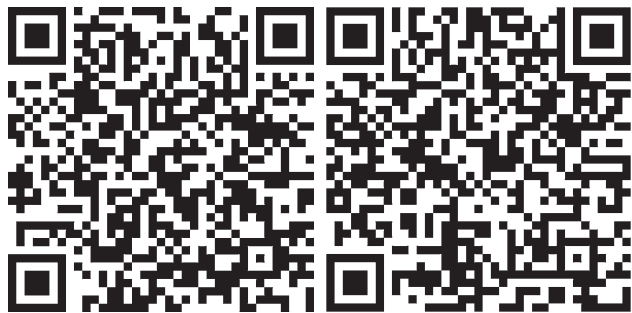
東京・名古屋・彦根・大阪の四都市で定期的にオフ会（実際に交流する会）を開くなどネットにとどまらない展開をすること

で、同窓間で思わぬビジネスが成立するという事例も出始めました。また母校の周辺状況や諸クラブ（含OB会）の活動状況が頻繁に紹介されますので、彦根や現役学生との距離感が随分縮まったという卒業生の声も数多く聞かれます。

引き続き陵水会フェイスブックが会員同士および大学との交流の場を拓ける一助として幅広く機能することを期待しております。どうぞ未だ登録されておられない方は是非トライしてみてください！

陵水会 Facebook 事務局

http://www.facebook.com/shiga.ryosui



http://www.facebook.com/groups/ryosui/

http://www.facebook.com/shiga.ryosui

随想

十五年間の監事を顧みて

高木早苗（本24）

先輩として立派な名監事の責任を果たして来られた辰巳先生が病魔のため空席となり、当時の川本茂支部長（経専24回同期）より後任をとる依頼を受け、お引く受けした次第です。

其の当時はスタッフも少なく、川本支部長の奥様にお手伝

いを戴いたと聞いております。

次の小池英夫支部長も経専同期で本業の社長職（富士貿易）が多忙を極め、中川寿一（同社専務取締役）（大10回）が支部長と連絡を取りつつ、支部経理の抜本的見直しを敢行したのは強く印象に残っています。外注費（印刷費）の大胆な削減を実施しました。

宇治原支部長時代には、多少の時間的余裕も出来、支部規則を現代的に改正をと、小委員会を発足、宇治原支部長の近代的思考のもと、各委員の積極的、真摯な発言、助言等があり新支部規則の制定にご尽力、ご協力いただきました。

委員会は宇治原嘉政支部長（大7）、楠田迪彦（本24）、高木早苗（本24）、西坂徹雄（大9）、中川寿一（大10）、守谷貞夫（大12）、柴原良昭（大17）の諸氏。

西坂徹雄支部長の時代には一人でも多くの会員が出席するよう、彦根時代同じ山本ゼミ出身の会を組織し、約二十名位出席しております。

歴代支部長の高邁な識見と卓越した手腕のもと執行部として献身的な貢献をいただいた役員に対して心からお礼申し上げます。

ご宴会・ご婚礼・出張料理
カフェランランドーレ・グリルフクシマ



五野精養軒

〒110-8715 東京都台東区上野公園 4番58号
TEL 03-3821-2181(代) FAX 03-3822-1330
http://www.seiyoken.co.jp 年末年始以外年中無休



健康維持のための工夫

田川 行雄（大9）

遅かったリタイアのため、リタイア後の生活設計にいろんなことを取り入れようとして、結構バタバタした日常になってしまっておりませんが、ほとんど毎日楽しく続けられているものに、朝のラジオ体操つき散歩があります。六年ほど前になりますが、転居を契機に近くの臨港パークを散歩していて、ラジオ体操をしている集団を見かけました。その仲間に入れてもらって以来今日まで、続いております。

あるご夫婦が十三年前に脳梗塞のリハビリのためにベイブリッジに面した見晴らしの良いこの場所が始められたのが、段々と仲間が増え、今では三十名以上に加えております。天気の良い時は、二十名以上、雨が降っても少雨なら五名から一〇名近くの方があちこちから集まってきます。幸い近くに国立横浜国際会議場があり、雨ならその大きな庇を利用しております。私は毎日六時に出発して海沿いの道を約三十分間できる限り早歩きでラジオ体操の会場に向かいます。

話は変わりますが、厚生労働

省では生活習慣病を予防するために「健康づくりのための運動指針二〇〇六（エクササイズガイド）」を策定しました。その内容を簡単に紹介しますと、身体活動の強さを表す単位を「メッツ」と呼び、安静時を「1」としてその身体活動が何倍に相当するかを表します。普通歩行は三メッツ、速歩四メッツ、ジョギングは七メッツです。エクササイズは身体活動の量を表す単位で、たとえば三メッツの身体活動を一時間行なった場合、三エクササイズになります。厚生労働省が推奨している一週間の運動量は二十三エクササイズです。これを達成すると脂質異常症や高血圧、糖尿病、高尿酸血症などに有効と言われております。一説では一部の癌の発症率にも効果的とのこと。この情報も、私が続けている要因の一つかもしれない。皆様も朝のウォーキングプラスラジオ体操で必要なエクササイズ量を確保されては如何でしょうか。

体操終了後は、十五分ほどみんな放談を行っております。いろいろな経歴を持ったOB、OGの集まりですので、内外の時事・政治・経済や健康問題から趣味や近隣のイベント等話題は幅広

く、興味は尽きません。この緩やかな仲間意識から、一月一日の初日の出（絶好の場所です）に始まり、春には大岡川のお花見ランチクルーズ、夏には暑氣払いの会食、暮れには手品をはじめ津軽三味線やウクレレの演奏など、趣味の披露を兼ねた忘年会を行っております。今年はそのらに加えて女性軍がフラダンスの練習を始めております。また一年前より第一月曜日に朝食会を開き、持ち回り得意分野のレクチャーを行い活発な討論を行っております。大学時代のゼミの光景を思い出させてくれます。

今後とも心身の健康に良いと信じて、楽しい仲間とともに続けてゆきたいと思っております。

海風を受けつつ

「生と死について学んだ事、考える事」

山田 進（大10）

（二〇一三年九月）

*自らの死を垣間見て

「この写真を見て、脾臓癌を疑わない医者は日本に一人も居ないと思いますよ」私の持参したCT写真だけを見ながら医師は私の顔も見ないでそう言った。

「えっ！私は脾臓癌ですか！」「そう申し上げて居ります」漸く、私の方を振り返って更に「外科としては何もする事がありますので、血液検査でマーカーを調べて内科にお回りください。では！」と。青天の霹靂とは、まさにこのことで「何時か来る途とはかねて聞きしかど昨日今日とはこいつあかなわん」等と思うゆとりもなく、呆然！然し意外に冷静で、さあ死ぬ迄は通常なら約三ヶ月、死後にワイフや家族とが困る事は何かと考えて、その夜には「いざという時の便利帳」を作成、遺書も延命処置拒否の文書等をあらかじめ完成し、ゆつくりと目を閉じた。

翌日、静かにある覚悟を持って内科に入ると、「腫瘍マーカー、あれ全部正常でしたよ」と突然明るく言われ又びつくり、内科ではその後、種々の検査により、脾臓癌ではなく、「悪性リンパ腫」（8X15CM）と判明、腹水も溜まっている故、最新の抗がん剤の毎月一回、半年に亘る投与が開始された。

こうなったら波に乗ったら波に乗ったら波に乗ったら船頭任せである。そうして四ヶ月目の診断でなんと「山田さん、全部消え

ましたよ」との先生の声、新薬が意外に著効を現して、リンパ腫も腹水も消えたらしい。信じられない事ばかりが次々と起こる。さり乍らその後、何度も血便や、吐血を起こし、死んでいてもおかしくない状態になりその度に入院、その原因はリンパ腫が縮小する間に、ある血管をも引き連れて縮小した為であったが、昨年二月開腹せずに血管の狭窄をステント挿入で治す難手術の先生が不思議に現れ、それが成功し、今日も何故か元気で生きている。

*ワイフの死

小生の不調とほぼ時期を同じくして、元氣印のワイフも大腸がん、肝臓癌と次々に手術を重ねる事態が発生、それらが劇的に好転しつつある最中、昨年九月にこれ等とは全く関係のない「大動脈解離」で、起床してから三時間後に懸命の救命措置も空しく急逝したのである。余りのことにただ呆然と立ち尽くすばかり――。

暫くして、ふと気が付いて思ったのは「ああ、矢張り人は死ぬのだ。」と言う当たり前なのに不思議な実感である。こうして立っている自分と横たわっているワイフとの差は？何処に行

ったのか？等と瞬時に色んな思
いがよぎる。思えばトルストイ
の文の中に「人に死が訪れる、
これほど確実な事は世の中に
いのに。人々は恰も自分には死
が訪れないかのように生きてい
る。」然し、彼女でなく、何故自
分が生き残ったのか？自問して
いる。

*これ等の経験から――

日本では、「死」について語
る事は縁起が悪いとか、不吉で
あるとして嫌われる事が多い
が、必ず来るものである事は疑
なき処であり、それは死ねば何
処にいくのかは人類の謎であり
死んで見ないと解らないのが真
実であるが、死あればこそその
「生」である事も又認められる
事である。

言葉があるが、死んだらどうな
るかは、誰もわからないのであ
るから、自分で決め付けければ良
いと私は思っている。私自身は、
「死ぬ」とはこの三次元の見える
世界から、見えぬ異次元に移動
すること、運転手が身体という
車から降りる事」の様に思っ
ている。ソニーの天外何郎氏は「あ
の世は見えぬ電波の飛び交う空
間の如くであり、電波が受像機
で映像になるのがこれが此の世」
と解説しておられる。

*生かされている命を防衛する 「免疫力」

人間の身体にはそれを防衛す
る実に複雑な「免疫力」と言う
仕組みが組み込まれているのは
周知の通りであるが、それは加
齢と共に急速に減少し、七〇歳
代になると二〇歳代の時の十五
%に激減してしまう由である。
(之は生殖能力を失えば早くの
世から去るべしとの天の配慮で
あるといわれる) よって、七〇
歳代の人の真の死因は約七〇%
前後が感染症であるといわれ
る。然し、生かされている者と
しては、失われた免疫力を強化
して天命に應えねばならない。
その具体的秘訣を免疫学の大家
から直伝を受けたので御披露す
る。それは、主として三点であ
る。

古来多くの人が宗教者か
ら、最近では先端科学者もこの謎
に言及している。ダライラマは、
輪廻転生の考えから「死とは衣
を着替える事である」と言い、
又「さなぎが蝶になること」と
言う人もいて、死生観の本は本
屋に溢れている。然し、一度は
自分で、自分の死を想像し、ど
んな死を迎えたいかを想像して
みるのも悪くない事である。

「人が不安になるのは、自分の
立ち位置が解らない時」と言う

る。

① バランスの良い食事(幅広く
何でも食べて、腹七分、ヨー
グルト。茸はお薦め)

② しんどくない程度の心地よい
運動の継続。(散歩。ラジオ
体操何でも良い)

③ 之が最も重要な点であるが、
好きな事を、生き生き、伸び伸
び、楽しくすること。

好きな事がわからない場合
は、五感を通じて脳を喜ばせ
る事。(例えば、風呂を湯一杯
にしてザブーンと入り「気持ち
いいなあ」と叫ぶ、美味し
い物を食べて「美味いなあ!」
と声に出す等で免疫力はグー
ンと上昇する。(遺伝子の村
上和雄先生の遺伝子のスイツ
チ・オンへの方法と類似して
いる。)

即ち、先に逝かれた恩人・恩
師や、家族・先祖の我々への真
の願いは、今、生を受けている者
が、「元気に生き生きと願いに
向かって努力出来ているかどう
か」という事ではなからうか。
さすれば、天からの借り物であ
り、我が命の乗り物であるこの
身体を右に述べた方法で良く守
り、よくメンテナンスし、心身
を調えて自己の願いの実現に向
けてひたすら毎日努力を続ける

事が何よりの供養になるのでは
なからうか？
現代の医学も、出産↓予防↓
治療(西洋医学、東洋医学、代替
医療)↓癒し↓看取り この一
連の流れの夫々に進化を続けて
いる一方、心や気の領域に於い
ても欧米でも先端科学者によ
り、国を挙げて研究している国
も現れているが、諸々を二元論
ではなく、統一的に見る日本人
の素質こそが、心身両面を統一
して世界を救うと信ずるのであ
る。

我が家のベランダで、相模湾
の風に身を預けて、好きなワイ
ン片手に、風になっているかも
しれないワイフと、又ある時は
両親と対話する夕べこそ私の至
福の時である。

(付録)

前述のような数々の死線を超
えての経験から、
「賢明な患者であるために」
の、つたない考えの一部(順不
同、思いつくまま)を恥ずかし
ながら 御披露申し上げること
にしましょう。

① 患者も良く学ぶべし。「賢い
患者でありたい」

出ている症状が加齢による
ものか、病気によるものかを

良く知り、病を学ぶべし。但
し、患者が勝手に判断しては
ならぬ。プロの医師によるべ
し。

② 病院にいれば、医師や薬が、全
て治してくれると頼らぬ事。
病を治すのは、自分自身で
あって、医師や薬はあくまで
も助手であり忠告者である。

③ 一人の医師の話を信じ込まな
いこと。
医師も人間であり全てに通
じている事はありえない。誤
診は日常である。

薬についても、医師の話だ
けでなく、製薬会社に電話し
て納得するまで尋ねる事。
薬の数々の治験を行い、そ
の結果の説明を医師にしてい
るのは製薬会社であって、医
師から聞くのは又聞きである
と知るべし。

④ 病氣と闘わない。
癌が勝手に治る人がいる。
入院時に図書館の本からその
様な人約十人を見つけ、その
人達に共通している事を発見
した。それは、治療もするが、
本人は好きな事、やりたい事
があつて、癌にかかつてい
る事正面に据えて戦わずに、ひ
とまず脇に置いてやりたいこ
とに真剣に生き生きと取り組

んでいる。そしてある時、癌が消滅していることに気付くのである。

⑤ 病院で撮る各種の画像(MRI、CT他)は、必ずCDにしてコピーを貰っておく事。必ず後に役立つ事がある。血液分析の結果も出る度に、過去の数値と比較できる横長の表にしてもらって持ち帰ること。理解できない項目は解るまで聞くこと。

カルテも、画像も病院の所有物ではない。患者のものである。

⑥ 解るまで、徹底的に医師に質問して納得する事。

殆どの患者は、医師の説明をメモもしないで聞き流し、聞いても解らないからと「そうですか」と帰っていく。神より預かっている最も大切な自分の身体の事なのに、解らないで済ませるのは神に失礼である。説明を面倒くさがる医師は信用するな。

解らない事は予め箇条書きにしておき、それを見せて質問すると医師も助かる。

⑦ 顔も、見ないでパソコンだけ見ている医師、身体に触れない医師は余り信用しない。

⑧ セカンド・オピニオンを積極

的に行うべし。医師に遠慮するな。

依頼して気分を害するような医師は二流であるから、信用するな。

⑨ 評判の良い医師が良いとは決していない。

⑩ 医師と患者の関係は信頼関係である。何となく虫が好かぬ医師とは付き合うな。

以上思いつくまま。お役に立てば幸甚であります。

創立九十周年記念エッセイ集

「わが青春の彦根」の発刊

陵水会本部は昨年年初に九十周年記念寄稿文集発刊委員会を立ち上げ、同年八月末を原稿提出期限に設定、陵水会員に広く「彦根の青春」の思い出や追想の寄稿を呼び掛けていたが、同年十一月の記念式典開催を機に発刊の運びとなった。掲出エッセイは一〇一編、高商時代が十二編、高工時代が十編、一回卒、十回卒が二十一編、十一回卒、二十回卒三十五編、二十一回卒、六十回卒十六編、短大七編の内訳である。九十周年記念事業推進協賛基金へ寄付をした会員には寄付お礼として贈られた。



（第九十一回）第九十四回

開催の主な内容

- (一) 開催時期…年四回、(四月上旬・六月中旬・九月下旬・十二月上旬に開催)
- (二) 開催場所…金乃台カントリークラブ(カートなし)
- (三) 順位決定…同ネットの場合、高齢年齢者→ローハンドの順とする
- (四) ハンディキャップ…十回ごとにハンデ改定を実施、上限40、八十歳以上+6 七十五歳以上+3とする。

【新規参加希望の皆様へ、新規会員大歓迎！】

氏名・住所・電話番号・生年月日・卒業回・所属ゼミ・部活・ハンディキャップを下記メールアドレスにご連絡下さい。Xの次にアンダーバーがあります。山本 保

yatax_888@icnet.ne.jp

この一年間も金乃台カントリークラブで、好天の下、熱戦が繰り広げられました。各回の戦績、優勝者はじめ飛賞も含めた賞金獲得者名は下記の通りです。

第九十一回大会

(山本保選手(大15) 西坂杯取り切り戦を制し三回目の優勝) 平成二十四年十二月十日(月) 八組二九名



(成績(賞金獲得者))

優勝	山本 保(大15) 69(31)
準優勝	岡田 巖(大2) 70(30)
三位	山本 孝之(大9) 71(24)
四位	井口 博民(本21) 72(32)
五位	富田 博司(大15) 72(14)
七位	西澤 正(本24) 73(35)
十一位	松浦 幸作(大8) 74(25)
十五位	中西 三(大5) 77(26)
二位	山本 節夫(大17) 78(24)
五位	中村 嘉秀(大18) 83(18)
BB賞	蔵田 昭憲(大17) 85(22)
ベスグロ	富田 (大15) 86
大波賞	蔵田 (大17) 9打差
水平賞	小口 (大14)



株式会社 金乃台カントリークラブ

支配人 鎌田 和美

〒300-1211 茨城県牛久市柏田町 3432

TEL 029-872-0182 FAX 029-872-3182

『今年も皆様のご来場をお待ちしております』

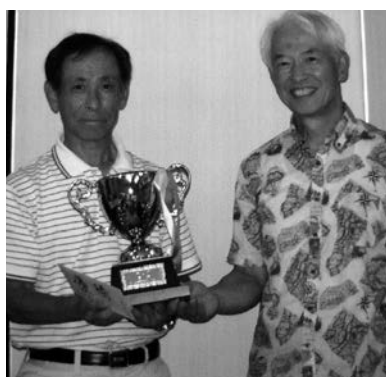
ニアピン…中西、石垣、川合、
中村圭吾、白井、富田、川崎
第九十二回大会

〈金井肇選手(大14) 待望の初
優勝!ベストグロス賞も獲得〉
平成二十五年四月九日(火)
九組三十五名



ニアピン…三井・富田・川崎・
高木
第九十三回大会

〈丸居裕選手(大14) 十三年ぶり
二度目の優勝〉
平成二十五年六月二十一日(金)
八組二十九名



第九十四回大会
〈守谷貞夫支部長(大12) !
三回目の優勝〉
平成二十五年九月五日(木)
八組二十八名



〈成績(賞金獲得者)〉

優勝…金井 肇(大14) 70(11)
準優勝…松浦 幸作(大8) 73(28)
三位…小梶 清司(大18) 73(16)
四位…山本 節夫(大17) 74(24)
五位…川崎 憲夫(大17) 75(15)
七位…丸居 裕(大14) 76(25)
十二位…守谷 貞夫(大12) 78(32)
十五位…中西 三一(大5) 80(26)
二十位…島山 義生(大10) 83(17)
二十五位…西坂 徹雄(大9) 85(18)
三二位…岡本 和之(大17) 90(15)
BB賞…蔵田 昭憲(大17) 94(22)
ベスグロ…金井(第14) 81
大波賞…島山(大10) 8打差
水平賞…中村弘(大14)

〈成績(賞金獲得者)〉

優勝…丸居 裕(大14) 63(25)
準優勝…田川 行雄(大9) 69(18)
三位…川崎 憲夫(大17) 71(15)
四位…富田 博司(大15) 72(14)
五位…中村 圭吾(大13) 73(28)
七位…小倉 好博(大18) 73(19)
十三位…岡田 巖(大2) 76(23)
二十位…木戸 彪(大16) 82(31)
三三位…井口 博民(本21) 84(32)
BB賞…兼松 泰男(大18) 87(14)
ベスグロ…金井(短5) 84
大波賞…中西(大10) 7打差
水平賞…平居(大16)
ニアピン…松浦・田川・平居・
富田・高居

〈成績(賞金獲得者)〉

優勝…守谷 貞夫(大12) 69(32)
準優勝…鶴見 芳令(大15) 72(32)
三位…古山捷二郎(大14) 72(25)
四位…兼松 泰男(大18) 74(14)
五位…名口 幸夫(大14) 75(7)
七位…柴田 茂夫(大2) 77(26)
十位…中尾 克也(大15) 77(21)
十四位…金井 肇(大14) 81(7)
二十位…田村 寿夫(大12) 86(22)
二十四位…山本 保(大15) 91(20)
BB賞…丸居 裕(大14) 95(11)
ベスグロ…名口(大5) 82
ドラコン…名口・川崎
ドラタン…島山・中尾
ニアピン…田村・金井2・中尾・
平本
山本 保(大15) 記

東京陵水会囲碁会便り

平成二十五年囲碁大会の実績
を以下の通りご報告します。

●平成二十五年六月十五日(土)
全国情報サービス産業厚生年
金基金会館にて開催
参加者十五名

戦績Aグループ…
優勝 鈴木克治七段(大14)
準優勝 竹森二郎五段(大19)
三位 森本忠徳五段(大9)

戦績Bグループ
優勝 用田政二二段(大3)
準優勝 田川行雄二級(大9)
三位 青島 弘四段(大5)

●平成二十五年十一月十六日
(土)
全国情報サービス産業厚生年
金基金会館にて開催
参加者十一名

戦績Aグループ…
優勝 鈴木克治七段(大14)
準優勝 島山義生七段(大10)
三位 森本忠徳五段(大9)

平成二十五年

陵水散歩会

●一月二十九日(火)

「谷中七福神巡り」・行程

田端駅→田端文士村記念館→芥
川龍之介旧居跡→東覚寺→青雲
寺→修性院→経王寺→本行寺→
長谷寺→谷中霊園→感応寺→護
国院→森鷗外旧居跡→不忍池弁
天堂→御徒町駅

江戸で数ある七福神めぐりで
最も古い時代に設定のコース。
しつとりとした情緒のある上野
寺町は心を江戸の昔に運んでく
れる。参加者七人。

●三月十八日(月)

「高尾に梅を見に行く」・行程
高尾駅→甲州街道→西浅川→小
仏梅林地帯→湯の花梅林→裏高
尾→常林寺→蛇滝口→小仏関所
跡→高尾駅

今年は梅が二月では寒くて咲
かず、漸く三月に満開の便りを
聴いた。参加者五人。

●五月二十七日(月)

「粕江の初夏を歩く」・行程
粕江駅→粕江市役所→野川緑地
公園道→小足立八幡神社→伊豆
美神社→万葉歌碑→兜塚古墳→
むいから民家園→亀塚古墳→泉
龍寺→粕江駅

伊豆美神社には巨大な井伊直



万葉歌碑の前



第三台場

「葛西臨海公園と荒川河口」・行程
葛西臨海公園駅～葛西臨海公園
～荒川河口橋～夢の島公園～第
五福竜丸～辰巳の森海浜公園～
京葉線潮見駅～東京駅
爽やかな秋風で埋め立て地の
感がない。林や草原が自然に化
身している。荒川河口橋は八百
六十メートルの長さ。死の灰を
被った第五福竜丸の姿を陳列館
の窓越しに見る。参加者八人。

なっており、
大学時代、詩吟部で活躍され
た柴田氏(大16)は別格として、
他の全員は初めてという素人集
団ですが、昨年十一月の温習会
では二百七十名の出席会員の前
で、堂々、独吟を演じました。
毎回、鈴木氏の指導で励んで
おりますが、吟詠後、近くで昼食
をとりながら、四方山話に興じ
るのも楽しみです。
メンバーを以下にご紹介しま
す。(五十音順)

堀内和(大12)、宮野幸雄(大12)、
脇坂守(大21)、和田博之(大
19)
関心のある方は、それぞれ右
記の者または、浦谷(ZAT16132
@nifty.com 049-261-5508)
までご連絡ください

東京五陵会総会

弼頭彰碑が立つ。この辺り彦根藩の飛び地。「多摩川に曝す手作り更々になんぞこの子のこくだ可愛しき」と碑は読める。古代集落の広がり跡。参加者九人。

●六月二十四日(月)・行程

「鎌倉紫陽花名所巡り」・行程

北鎌倉駅～円覚寺～明月院～淨智寺葛原岡公園～大仏裏ハイキングコース～鎌倉大仏～長谷寺～成就院～極楽寺～鎌倉駅

今や鎌倉は紫陽花見物の名所。大仏裏ハイキングコースは意外に難所、歩き終わってほつとした。参加者五人。

●七月二十二日(月)・行程

「レインボウブリッジ」・行程

芝浦頭駅～レインボウブリッジ～台場公園第三台場～お台場海浜公園～お台場観光市街～パ

レットタウン～ゆりかもめ青海駅～新橋駅
第六〇回目の散歩会。ペリー艦隊におののいた証拠が第三台場の砲台に残っていた。ビルの一隅、ヴァーチャルなイタリアの街を散歩する。参加者七人。

●九月三十日(月)・行程

「蘆花公園から砦公園」・行程

蘆花公園駅～世田谷文学館～千歳船橋～東京農業大学～馬事公苑～砦公園～静嘉堂文庫～二子多摩川駅

徳富蘆花を彷彿とさせる簡素な屋敷が武蔵野に残された樹林の中にあった。馬事公苑で馬のひずめあとをたどる。馬はこの調教所でしつかり鍛えられるようだ。静嘉堂は時間で間に合わない。参加者六人。

●十月二十八日(月)・行程

どなたにも、ご希望あれば、開催の詳細をEメールでご連絡いたします。(原則月一回)。また希望のコースをご案内下さいます。
連絡先メールアドレス
hysckys@nifty.com

林 史欣(大8) 記

岳精流日本吟院 新陵教場

本教場は、昨年七月、上野精養軒での東京支部総会でご披露しました詩吟の会です。

大卒七回の鈴木重成氏が会長の千代田岳精会(会員三百名超)に所属し、昨年三月、陵水会員十三名で発足いたしました。

練習は、月二回、第二、第四木曜日の十一時から二時間、新宿駅西口前の明治安田生命館で行



浦谷政夫(大7)、小梶清司(大18)、柴田豊彦(大16)、鈴木重成(大7)、田川行雄(大9)、中川寿一(大10)、西坂徹雄(大9)、西野宏(大7)、藤江忠正(大9)、

郡山で磐越西線に乗り換え会津若松には十三時に着いた。鶴が城を巡り再び会津鉄道に乗って四時頃芦ノ牧温泉駅に到着。宿差し回しの車で本日の宿「芦ノ牧グランドホテル」に着く。宿の周りは山あり川あり、秋を感じさせる紅葉が始まっている。早速お風呂で汗を流し、宴会に移ったが、談論風発、賑やかな宴となった。

翌二十五日は市内の古い街並みを散策し、若松の鶴が城を見たならば、二本松の霞ヶ城を外すわけにはいかないと場所を二本松に移し、雨の中、市内を巡る

回遊バスに乗って霞ヶ城跡を見学。この城は白虎隊より若い少年隊が殉職した所である。そこではNHK大河ドラマで人気の「八重」を中心とした菊人形が開催中で、白や黄色の菊を堪能した。

二本松から郡山に戻り、新幹線にて帰途についた。久しぶりの楽しい旅であった。

細井恭一（大5）記

大学十八回（昭和四十五年卒）同期会開催

大学十八回同期会を四月十八日東京駅八重洲北口「ニユートーキーヨー・旬さがみ」にて開催しました。東京支部総会の当番幹事を契機として同期会を六人で開催してから九年経ちました。同期生の数も今年で四十九名になりました。毎年四月十八日に開催しています。今年は二十名の懐かしい顔ぶれが集まりました。近況報告を一人ずつ行いました。一巡する頃には程よくお酒もまわり、四十余年前の彦根某所での酒宴と同じ状況が再現されていました。同期で会おうという事から、ゴルフ、ハイキング、昼食会等の色んなアイデアが出て今後益々楽しい同期会になりそうです。



東京支部での同期会にとどまらず、他の支部に呼び掛けて全体の同期会開催をやれないかとの意見も出て今後同期の輪が広がります。

同期会参加者は以下のとおり（敬称略）。

市岡隆治 今津松雄 岡田憲治
岡本文夫 小倉好博 影山哲也
兼松泰男 北居和夫 喜田峯幸
小梶清司 田中和男 徳山秀雄
中村嘉秀 永田（佐野）央
西川清吾 前野悦夫 村瀬尚文
森 紀正 吉田正行 吉村政彦
中村嘉秀（大18）記

第五十二回有田会を開催

平成二十五年十月二十日、金沢市の「私学共済・兼六荘」に一泊して「第五十二回有田会」

を開催しました。五回卒の細井恭一氏を筆頭に二十六名が参加しました。

金沢での開催は十四回卒で元金沢経済大学教授の森山誠一氏の推奨によるものです。

有田会では毎回参加者が研究発表を行うのが慣例となっています。今回は八回卒の吉田正克氏が「源氏物語とその時代背景」と題して平安時代の貴族の恋愛に焦点を当て、資料に基づいた実証的で大変興味深い講演をされました。

その後はいつもの通り夜の更けるまで語り、懇親を深めました。翌二十一日は森山氏の案内で金沢城、兼六公園を散策し解散しました。

今回は有田正三先生の生誕一



エレベーター等、輸送機械の営業、設計、製造、据付
保守サービス、モダンゼーションに関する全業務



守谷エレベーター

ISO9001 認証取得

守谷輸送機工業株式会社

代表取締役社長 守谷 貞夫（大12回）
田村 寿夫（大12回）

本社・第一工場	〒236-0004	横浜市金沢区福浦1-14-9	TEL(045)785-3111	FAX(045)780-1881
営業本部	〒220-0004	横浜市西区北幸2-9-40 銀洋ビル4階	TEL(045)322-3111	FAX(045)322-9486
東京支店	〒104-0032	東京都中央区八丁堀1-6-1 協栄ビル7F	TEL(03)5542-2700	FAX(03)3297-7400

大阪支店 福岡支店 宇都宮工場 名古屋出張所 札幌出張所

〇〇年目の誕生日に当たる平成二十六年十一月十五日（土）に京都で開催することが決まりました。東京陵水からも多くの会員の皆様の参加を期待しています。

近藤達也（大13）記

東京陵水会計人会新年会開催



東京陵水会計人会新年会を平成二十五年一月十七日、神楽坂「もん」にて開催しました。

今年の新年会は八名が集まりました。参加者、不参加者以下の方々です。（敬称略）参加者は星出潔（大13）、岡田憲治（大18）、長井和夫（22）、御旅屋尚文（大24）、深田睦子（大26）、上田信子（大29）、久野康成（大37）、北尾聡子（大45）、不参加者は松澤進（大38）でした。

世界を駆け巡る久野さんから以前、著書「2008年版 インドの投資・会計・税務の基本」をメンバーに贈呈された事がありましたが今回は、長井さんから近著「経営コンサルタントが語る 経営再建の道筋」が贈呈されました。御旅屋さんの著書も多数あります。参加者から近況報告と共に貴重な話が聞け、今年も楽しく、充実した新年会でした。岡田憲治（大18）記

若手会活動と陵水会

肥田茂之（大54）

いつも若手の活動に御理解を賜りまして、誠にありがとうございます。

我々の活動も七年目を迎えました。その間、先輩方とのコラボレーションや大学への貢献活動など企画させて頂くとともに、東京では総会での司会や余興をお任せ頂くなど、徐々に認知度も上がってきているものと考えております。これもひとえに諸先輩方のご理解の賜物と御礼申し上げます。

さて、若手会代表として活動を続けて参りましたが、本年度は例年以上に嬉しいことが一つございました。それは我々が年に二回行っております、大学貢

献活動（就職支援活動）に参加してくれた陵水会の新入会員が、東京・名古屋の総会の場に参加してくれていたことです。彼女たちがはたして我々の活動がきっかけで参加してくれたのかは分かりません。しかし、陵水会のことは若干でも知って卒業してくれたことは間違いないではないかと思えます。何より、実際に大学へ行って学生たちと接してきた私どもとしては、彼女たちが無事に社会に羽ばたいてくれたことが何よりの喜びでした。

さて、在学生が陵水会を知って卒業してくれる。これは今後の陵水会にとって、非常に大きな意味を持つことだと感じております。恥ずかしながら、私も卒業して東京支部総会に参加するまでは、まったく陵水会のことを知りませんでした。今でもよく覚えていますのは、その年、東京支部総会に参加した四〇歳以下の参加者が、おそらく三名だけであったということです。また、その中から翌年度に参加したのは私だけでした。

しかし、今年はすでに陵水会を知っている新入会員たちが総会に会場したのです。また、今後也希望的観測も含みますが、

同じように陵水会をすでに知っている新入会員たちがきつと参加してくれそうです。また、会場に来てもらえれば、彼らの緊張をほぐし、率先して迎え入れる若手陵水会員たちもいます。私は若手陵水会員の総会への参加率は徐々に上がっていくものと思うと、手ごたえを感じています。

また、今年は私自身にも大きな変化がございまして、引越しの都合で名古屋支部へ籍を移らせていただきました。最初は不安もございましたが、そこはやはり同じ陵水会、東京支部と多少カラーの違いはあれど、おかげさまで早々に暖かく迎え入れて頂くことができました。この経験を是非後輩たちに伝えるとともに、転勤等で支部が変わった若手会員に対し、各支部への連絡を行うよう促して参りたいと思います。同時に私の移籍により若手会の各地で核になる人間が東京・名古屋・大阪に揃いました。東京がここまで来るのに五年以上かかったように、他の地区でも何年かかるかは分かりません。しかし、この三地域で活動の輪を確実に広げてまいります。

ただ、こうして若手参加者が増えていくことは、陵水会に對

しても大きな変化を促していくものと考えております。若年層が増えれば増えるほど、陵水会はより彼らに魅力的な陵水会となつて行かねばなりません。若いメンバーに対し何ができるのか。また、未来のメンバーとして活躍が期待される在学生に対して何ができるのか、さらに考えを深め、そして実行していくことが今以上に強く求められてまいります。そのためには、まずは若い陵水会員や在学生に、陵水会ってなに？と言われないう、彼らに見える形の活動を強く推進していくことが肝要と感じております。若手会は独自の動きも含め、若手陵水会員の輪を着実に作り上げていくと同時に、各支部と連携を取りつつ、彼らの意見を陵水会へ届けられるよう努力して参ります。

今後、陵水会、若手会の活動がさらに発展すると同時に、陵水会を知る若手陵水会員たちがそれぞれの会社で活躍し、そして、滋賀大学の学生たちにその経験を還元するサイクルが根付くことを切に願い、そのために今後

も努力を続けてまいります。今後とも皆様のご指導とご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

彦根コンフェレンシャル

— 滋大陵水新聞会

滋大陵水新聞からの抜粋、数字は発行号数。

(三二〇号)

●平成二十四年の衆議院選挙に当たり世論調査を実施。「選挙に行かない・恐らく行かない」が五十三%。「必ず行く・恐らく行く」が四十七%。「比例選挙で投票したい政党」について、自民党三十三%、民主党五%、日本維新の会十三%、みんなの党四%、日本未来の党五%、決まっていない四〇%。「原発の稼働」について、「徐々に脱原発すべき」四十六%、「再稼働すべき」三十一%、「完全廃止」十九%。「TPP参加」について、「不参加」四十五%、「参加すべき」二十二%、「わからない」三十三%。

●新入生への呼びかけを特集。滋賀大生はこうあって欲しいという期待がこめられた。大学は自分で道を探しそれに相応しい師を見つける。大学は何のために行くのか考える。大学は職業教育の場ではない、有能で教養のある人間を要請する。教養と社会生活を営む上で必要な幅広い知識、と力説している。

●新入生への呼びかけを特集。運動部…弓道部二十三、アメリカンフットボール部十七、バドミントン部十六、ボート部十五、ラグビー部十五、ウインドサーフィン部十四、少林寺拳法部十四、陸上競技部十二、硬式野球部十二、バレーボール部十、サッカー部十。

●新入生への呼びかけを特集。文化部…アイセック十九、オーケストラ部十八、軽音楽部十八、ユースホステル部十五（囲碁部〇が目を引き）

●新入生への呼びかけを特集。サークル…会計LABO三十五、ラクロスサークル二十四、彦根キャスルズ二十一、IVUSA滋賀大二十二、Goody's二十一、よさこいサークル樫二十、バレーボールサークル MEGUMI 二十

「論調」において、選挙において政党は「政策よりも綱領の確立」をすべきであった。民主党の失敗は、綱領—政党の根幹、存在目的、アイディンティティーを確立することなく、あれも、これもと懸案になっていることを政策の種としてマニフェストに集めたただけだ

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

アイナル審査を経て、全三十六チーム（大学チームは三チーム）参加の中で初めて五位入賞を果たした。（三二四号）

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

●新入生への呼びかけを特集。サークルの姿

年会費・併せて寄付金をお振り込みいただきありがとうございます

平成二十五年年度年会費納入者

(十一月末現在)

山口武美(本17)、高木克幸(本19)、葛上宗一郎(本20)、井口博民、犬塚昌一、梅澤誠實、河添治男、竹内政太郎、豊田弘毅、中辻喜藏(本21)、板谷立郎、寺本康郎、橋本侃、箕浦正、山口昭夫(本22)、永木俊一、西尾 實、西田延弘、前川彌之祐、松本 義(本23)、岡田 浩、加納淳司、楠田迪彦、相馬忠男、高木早苗、西澤 正、保正 保(本24)、奥村忠雄(東)、落合忠一(別11)、井上祐一、川本 茂、渡辺貞二(大1)、乾 哲彦、岡田 巖、柴田茂夫、新宮 毅、水引芳雄(大2)、井上五郎、神谷誠、小八木俊雄、清水善和、中川弥次、増田茂樹、村井栄治(大3)、青山松太郎、今井常清、粕淵健三、北川 享、酒井郁郎、佐々次郎、田田讓一、谷 文夫、寺田又三、箸方海三、樋上不二子、福本俊昭、松井茂、松岡正曜、安江郁夫、山中英一(大4)、青島 弘、天田志郎、飯島勲、井上明郎、大野一郎、岡田和義、岡田 亨、神谷 亨、龍口秀夫、竹内伴道、田中修二、中川郁三、中西三一、樋上泰功、細井恭一、三井正勝(大5)、青木 滋、今宿隆弘、白井 靖、大久保義雄、大谷毅丈夫、岡田 亨、河合正紀、川村和男、草生知治、小林仁実、齋藤高康、高橋秀治、田中 実、中村博一、橋本長夫、林謙治郎、久木義雄、藤原多喜雄、三宅義男(大6)、安達仁始、磯部一郎、市川浩久、宇治原嘉政、浦谷政夫、木下 実、佐野 了、鈴木

重成、竹村孔作、富永義孝、西野宏、東野和弘(大7)、池田弘孝、大島明美、小塩正長、尾本政二、小森清美、瀧川雅一、刀瀬館信雄、並川淳、浜崎守三、林 史欣、松浦幸作、松岡健雄、安田一雄(大8)、小行浩、日下部百也、坂田忠彦、田川行雄、中川和己、中島勝司、西坂徹雄、西田広彦、乗富俊二、平瀬武明、藤江忠正、藤本裕一郎、森本忠徳、山本孝之、吉田 弘(大9)、石垣康井上義隆、白井 健、佐藤秀孝、田中俊男、坪田清六、中川寿一、中澤龍彦、畠山義生、服部全孝、細谷孝、三井照次、山田 進(大10)、大野正保、川合久嗣、川北直行、小林貞夫、関 恵文、野一色公平、長谷村秀夫、法橋正虎、松浦紀久雄、松本隆一(大11)、稲邑明也、奥村啓一、小原捷治、守谷貞夫、田村寿夫、平居俊雄、堀内 和、堀川幸夫、宮野幸雄(大12)、朝比奈冬男、小谷兼夫、小林三郎、近藤達也、中村奎吾、納堂秀樹、星出 潔、村井邦彦、吉田久典、若山 忠(大13)、安部 誠、天木國男、白井和宣、小口 晃、葛山 薫、加藤博善、北村 徹、古山捷二郎、高橋勝彦、土井健一郎、中村 弘、名口幸夫、野村英樹、羽瀨展世、古川浩司、丸居 裕(大14)、海野廣司、海老 洋、大澤義隆、奥村勇雄、木下英男、黒田悦司、鈴木勝、柘野茂樹、鶴見芳令、寺田芳雄、富田博司、中澤武昭、藤井駿治、細江讓夫、前田哲頭、山本 保、吉田勇夫(大15)、尾関一平、木津勝治、木戸 彪、佐藤充宏、嶋田 優、浜口栄治、渡辺雅利(大16)、池谷吉人、石川喬敏、大原和夫、岡本和之、川崎憲夫、蔵田昭憲、栗林 昭、滋野輝彦、柴原良昭、栢 治三、豊田徳

司、中根昌孝、並河日出夫、西尾郁夫、前田 豊、山本節夫(大17)、市岡隆治、今津松男、岡田憲治、兼松泰男、北居和夫、喜田峰幸、小倉好博、景山哲也、栗原喜代次、小梶清司、田中和夫、千葉 茂、徳山秀雄、中村嘉秀、西川清悟、林 良学、村瀬尚文(大18)、伊藤博邦、井上博之、岡 廣司、小野孝史、門平孝二郎、小山久照、坂野友之、竹森二郎、田辺 徹、寺井与利雄、土井利明、永田 修、中村達夫、西澤弘行、濱筆治、平田雅章、松野澄男、宮川誠、山崎竹夫、和田博之(大19)、岩谷克敏、上田 求、植田兼司、上野恵三、大八木勉、笠松 研、河原正喜、北本正和、蔵 彰、竹本進一、田中二郎、農守義文、角田健一、浜野信裕、平井善三、松山 仁、持田春夫(大20)、石川公一、射場茂喜、上田文男、植野克美、親里哲雄、中井義邦、藤野義男、米山 修、山口勝三、山下修司、吉田富美男、脇坂守(大21)、川分啓史、北野敏彦、小林忠志、島崎 博、長井和男、長尾成基、能島伸夫、山代真佐行、山田忠、山脇一泰(大22)、稲波信一、太田敦生、大矢 武史、品川悦夫、棚橋 稔、玉置辰司、中岡浩三、中村勝己、西以久夫、野村勝良、平本義則、深谷靖純、堀内 裕、堀江慎一、松田治久、若林 寛(大23)、伊藤敬一、奥村淳一、金子俊治、河江泰平、斎藤裕士、仙田修三、田中恒男、保見夫、本田吉弘、山崎 勉、湧川勝己(大24)、石黒俊一郎、太田隆康、岡本幸博、香山 隆、楠田芳弘、小谷恭一、田村弘昭、中尾佳史、永田雅則、濱塚純一、福田康夫、武藤弘明、安井喜重、山本哲治(大25)、池本莊司、大北 亨、上林好一、北野

義隆、長 誠次、京極政好、近森彦義、重田 博、高瀬 豊(大26)、足立浩次、岩崎博之(大27)、大野光宏、奥田慶一、桑島英彰、小杉裕司、西川元啓、宮崎吉史、森 徹(大28)、浅見 徹、大下雅司、緒方俊輔、筒井泰三、中野達也、山本裕之、吉本準一(大29)、磯野和也、大江康浩、武田吉史、野村孝次郎、船橋伸夫、吉田繁喜、和田昌信(大30)、黒岩征一郎、西田政夫(大31)、青山 登、小林智子、酒井康就、進藤盛之、田邨弘樹、中井光治(大32)、今田 淳、清塚 徳、西野忠宏、西村 毅(大33)、丸山貴宏(大34)、岸田直明、清水範之、能登英彦(大35)、久野康成(大37)、大原孝明、小川 伸、岸野正史、北川昌樹、柴田敬三、松澤進(大38)、原 弘、蒔田英一郎(大39)、高田英行、立木賢一(大40)、畑瀬英樹(大41)、山本雅由(大42)、上辻成司、牛嶋宏也、北尾聡子(大45)、菅真里子、山内大輔(大46)、有賀優一、衣斐榮男(大47)、加藤雄司、弥田有三(大48)、鈴木 裕、湯浅信介(大50)、秋山直登、平 大輔(大51)、岩川正幸(大54)、戸田友香(大55)、杉田佳世子(大56)、伊勢健二郎、北村太一、玉田悠太、平良友枝、松田慎祐(大57)、秋山友歌、中村早織、濱田英嗣(大58)、桜井健一(大60)、佐藤嘉代子(短1)、清水俊彦(短4)、北澤勝太郎(短5)、傘木良三(短6)、日高信次(短9)

一〇〇号を発行してやれやれと気を許していたら一年が駆け足で年末に迫っていた。編集の上で新機軸を打ち出そうと思ったが、構想倒れである。

当室も和田部員が加わって、それなりに活気づいてきたがまだまだ若さにかける。マンネリ化を払拭していくためには人材の動きが是非とも必要である。

創立九十周年を迎えた母校の、更に百年に向けて飛躍を期待したい。法人化による大学経営はますます競争の荒波をかぶって行くことだろう。文科省は大学の実績成果に基づいて補助金を支給するのだから、母校の成長は自らの収入の手だてが少なくない以上これに頼らなければならぬ。大学運営の財政的規模の健全化には、陵水会への期待が益々高まって行くのではないだろうか。会員の現在の頑張りを支えにして母校への叱咤激励も大切だ。それには大学、陵水会への関心を一層高めて欲しい。「滋賀大学経済学部卒業」だけではいけない。

(H)

編集室 所感

賀年
護新



ITシステム性能管理のエキスパート

株式会社 アイ・アイ・エム

URL <http://www.iim.co.jp>

代表取締役会長

営業本部東日本営業部 部長代理

営業本部東日本営業部 マネージャ

営業本部東日本営業部

技術本部テクニカルサポートセンター

小野 孝史(大19回)

森山 哲臣(大44回)

田村 峰子(大51回)

中村 早織(大58回)

樽井 彩花(大61回)

本社

大阪支店

中部営業所

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-20 本郷センタービル

〒531-0072 大阪市北区豊崎3-2-1 淀川5番館

〒460-0008 名古屋市中区栄2-2-17 名古屋情報センタービル

TEL:03-5684-6771(代)

TEL:06-6359-5750(代)

TEL:052-220-2977(代)

FAX:03-5684-684

FAX:06-6359-5751

FAX:052-220-2978

性能管理ソフトウェア「ES/1 NEOシリーズ」と専門SEの手厚いサポートにより

「システムの安定運用」と「コスト削減」のお手伝いをいたします

欧米に輸出開始

世界のデファクトスタンダードを目指す!

特
長

1. 豊富な導入実績
2. 創立から26年、競合製品なし
3. 安心な自社開発、国産製品

駐車場の総合コンサルティング

日本駐車場開発株式会社

(東証一部上場 証券コード2353)

東京都千代田区丸の内1丁目5番1号 新丸ノ内ビルディング

〒100-6510 電話 03-3218-1900

取締役副社長 川 村 憲 司 (大37回)

東京・築地市場近くの本格串あげとワインのお店

串あげ 花村

〒104-0045 東京都中央区築地 2-14-1 新井ビル 1F 電話 03-3545-8765

オーナー 川村憲司 (大37回)

電話 03 (3831) 4181

船舶印刷(株)

東京都台東区東上野1-28-3

〒110-0015

印刷所

電話 045 (785) 3716

陵水会東京支部 支部長 守谷貞夫

守谷輸送機工業(株)内

横浜市金沢区福浦1-14-9

〒236-0004

発行所

(次号分々切日十月末日)

hysckys@nifty.com

※編集室のメールアドレスは

03 (3381) 4431

(TEL・FAXとも)

中野区南台2-15-10

〒164-0014

林 史欣 (大8回)

「会報」原稿・情報「送付先

陵水会東京支部

ホームページアドレス

<http://www2.ocn.ne.jp/~tyousuit/>